

目標2：かわの魅力を活かしてまちが“にぎわう”かわまちづくり

【整備方針】	保津川のシンボルの創出	観光拠点の整備充実	まちの資源を活かした観光ネットワークの形成
考えられる具体的な内容の(案)	<p>「(仮称)保津川 花回廊」の整備 築堤、桜・つつじ等花木の植栽、遊歩道、休憩施設、案内板 等</p> <p>年谷川千本松「野橋立」の復元 松並木、遊歩道、休憩施設、案内板 等</p>	<p>山本浜の復元 緩傾斜護岸、河原の再生</p> <p>保津小橋の周辺整備 橋詰広場、休憩施設、案内板 等</p> <p>保津川下りの周辺整備 乗船場及び周辺護岸整備、出発広場、案内板 等</p>	<p>観光動線の整備 「(仮称)保津川 花回廊」等 (トロッコ 保津小橋 保津町 保津川下り 亀岡駅)</p> <p>輸送手段の検討 馬車等の運行</p>

イメージ(案)

### 「(仮)保津川・花回廊」

保津川の新たなシンボルとして、桜・つつじを中心に四季折々の花木を楽しめる散策路や休憩スポットなどを整備

カンツバキ(11月～2月) 市の花:ツツジ(5月) 市の木:桜(4月)  
サザンカ(10月～12月) アペリア(6月～11月) ヤマブキ(4月～5月)

### 山本浜の復元

今でもカヌーやラフティングなどの河川利用のある場所であり、かつての「山本浜」として復元し、浜のにぎわいを創出する

### 保津小橋の周辺整備

対象地域において保津橋以外で唯一左右岸をつなぐ動線であり、橋詰に広場を設け、休憩や展望スポット等を配置する

### 観光動線の整備

「(仮称)保津川 花回廊」を中心に観光拠点や左右岸をつなぐ動線を確保し、ルート案内板や休憩施設なども整備

(歩行者ネットワーク)  
トロッコ 保津小橋  
保津町・水端農園プラン 保津川下り 亀岡駅

### 保津川下りの周辺整備

保津川下り乗船場の移転に合わせ、乗船施設や出発広場、観覧施設等を整備し、観光拠点としての充実を図る  
保津川と周辺の風景に調和した整備  
先行整備箇所として検討

目標3：かわの自然、まちの歴史と文化に“ふれあう”かわまちづくり

【整備方針】	川の自然を感じる交流・ふれあいの場の創出	アユモドキをはじめ多くの生き物の生息環境の保全再生	保津川と人との関わりの歴史文化を伝える
--------	----------------------	---------------------------	---------------------

考えられる 具体的な 内容の(案)	高水敷の利活用 市のまちづくり計画に沿った利活用 (包括占用制度の活用) ・芝生公園、多目的広場、コミュニティ広場、花畑、採草地、河川環境保全活動の拠点 等々	水辺環境の保全再生 水際の保全再生 ワンドの創出	歴史文化の伝承 歴史史跡案内マップ (川と歴史を巡る散策コースの設定) 保津百景との連携 歴史文化、自然学習会として「(仮称)保津川探検」の開催
	水辺の散策路 水辺の小径の整備	アユモドキ保全協議会との連携 生息環境の保全、再生 生息調査の実施	上内膳・下内膳の復元 上内膳の補修 下内膳の復元

イメージ  
(案)

<p><b>水辺の散策路</b></p> <p>旧堤防を活用し、河川管理や巡視用通路も兼ねたより水辺を身近に感じることのできる散策路や小径を整備</p> <p>保津川 水辺の散策路 旧堤防 修景植栽</p>	<p><b>水辺環境の保全再生</b></p> <p>かつて農地を守るために施工されたブロック積護岸や根固ブロックを自然石等に置き換えるなどにより水辺環境の再生を図る</p> <p>水際に石等を配置 緩斜面化して水陸移行帯を形成</p> <p>水衝部 水衝部以外</p>	<p><b>歴史文化の伝承</b></p> <p>「保津百景との連携したマップ作成」 「保津川探検の開催」</p> <p>保津小橋補修の 保津百景と連携 「保津川探検」の開催</p>
<p><b>高水敷の利活用</b></p> <p>市が主体となって、包括占用制度も活用し、まちづくり計画に沿った利活用や、誘導を図る</p> <p>にぎわいの水辺ゾーン 大堰川緑地東公園や、保津川に隣接して計画が進められている保津町市民農園プランと連携し、農業公園等との連続的な高水敷の利活用や運動公園など、にぎわいの水辺空間を創出する。</p> <p>いきいの水辺ゾーン 水と緑の自然豊かな河川環境を活かした地域の様々な交流や市民の身近な広場として、また新たな保津川のシンボルとなる「保津川花園」のエントランスとして、憩いの水辺空間を創出する。</p> <p>ふれあいの水辺ゾーン 亀岡観光(トロッコ亀岡駅、山本流、保津川下りなど)を訪れる人々が、保津川の自然や歴史文化に出会い、また人と人とが交流するふれあいの水辺空間を創出する。</p>	<p><b>アユモドキ保全協議会との連携</b></p> <p>市の取り組みと連携し、保津川本川や支川において、生息調査や生息環境の保全再生を進める</p> <p>【生息環境の改善】 布田カゴ、石積み の設置</p> <p>【産卵場の改善】 高水敷の攪乱 (今年度も継続実施)</p> <p>【ワンドの創出】桂川本川</p>	<p><b>上内膳・下内膳の復元</b></p> <p>歴史的な水制工として今も機能する上内膳、下内膳を復元し、先人の知恵を学び継承していく</p> <p>現在の下内膳 S60の下内膳</p> <p>端部が流出 端部が流出</p> <p>(文献による長さ:約50間:90m)</p> <p>下内膳の復元イメージ</p> <p>石堤水制の復元</p> <p>ワンドの形成</p>